



## かつおビンタ料理で熱烈歓迎 ～立神中PTA主催、新任先生歓迎会

立神中学校に赴任される先生たちを「かつおビンタ料理」でもてなす歓迎会が4月18日、大塚公民館で行われ、赴任された5人の先生を歓迎しました。

今年はテレビの生中継も入り、緊張の面持ちながらも先生たちは「背皮かぶい」を頭に付け、指南役の林吾郎さんの教えに従い「かつおのビンタ」を手づかみでほおばっていました。

南九州市別府中から赴任され、美術と技術を担任される山田勝弘先生は「大自然の香りがプンプン匂ってきておいしい。保護者や地域の方とも仲良く頑張りたい」と話していました。



## 和太鼓と篠笛の音色に魅了される ～朋郎コンサート・和太鼓と篠笛のアンサンブル

元和太鼓集団「鼓童」のトッププレイヤーとして活躍した内藤哲郎氏と篠笛奏者・武田朋子氏によるユニット「朋郎（ともろう）」コンサートが4月19日に南浜館で開催され、110人の観客が和太鼓と篠笛のアンサンブルを堪能しました。

演奏は、伝統的な和楽器音楽を基本にしながらも、現代のロック調のリズムも取り入れ、それぞれの演奏技術により激しい曲からゆったりした曲までたっぷり聴かせました。また「鯉のぼり」の演奏に合わせて観客も一緒に歌い、和やかな雰囲気の中、音楽を楽しみました。

## みんなの力で「人権の花」を咲かせよう ～桜山小学校に「人権の花」を贈呈

桜山小学校で4月18日、「人権の花」贈呈式が行われ、地元人権擁護委員からヒマワリの種や一輪車、プラントー、スコップなど栽培用具一式が同校に贈られました。

この「人権の花」運動は、人権啓発の一環として法務省、全国人権擁護委員連合会で実施されており、花を栽培し観察することで、児童の心を豊かにし人権に対する理解を深めることを目的としています。

贈呈を受け、五十嵐駿介くん(6年)が、「ひまわりの花を大切に育てて、僕たちの心をいい方に伸ばしていきたい」と、児童を代表してお礼の言葉を述べました。

贈られたヒマワリの種は、この運動に合わせて6年生の有志約20人で結成された「人権ボランティア」（下写真）を中心に栽培されるということです。



## さわやかな香りの中、茶摘を楽しむ ～別府中学校全校生徒が茶摘み

別府中学校の全校生徒71人が、野菜茶葉試験場の茶畑で、毎年恒例の手摘みによる茶摘を体験しました。

茶摘に先立ち、茶葉の摘み方について生産者の真茅芳秋さんが「一芯三葉で摘んでいけばおいしいお茶ができる。丁寧に摘んでください」と指導。生徒たちは茶畑に出ると、鮮やかな緑色のやわらかい新芽をそれぞれのペースで摘んでいきました。

摘まれた新茶は製茶されて各自に配られるほか、家庭科の時間にお茶の入れ方を学習して飲むということです。



## 市役所にかつおのぼりを掲揚

子どもたちの健やかな成長を願い、またかつおまつりを盛り上げようと4月30日、市役所前にかつおのぼりを掲揚しました。掲げてくれたのは、枕崎小学校1年生。「鯉のぼり」の歌をかつおのぼりに替えて歌いながら、元氣にかつおのぼりを泳がせました。



■戦艦大和をはじめとする第二艦隊の追悼式が4月7日、平和祈念展望台で行われ、全国から参加した遺族など合わせて約400人が、戦没者の冥福を祈りました。

式では、洋上慰霊団を代表し、巡洋艦矢矧(やはぎ)の士官だった池田武邦君(左)「世界平和への願いを戦後生まれの若い世代に伝承することが大事」と呼びかけ、また水産高校の岩崎真志君は「言、発表させなければならぬのは人の心」と、若い世代からの平和への誓いを述べました。

■前日6日には、市民会館で映画「男たちの大和」の原作者、迎見じゅんさん(左写真)の講演会が行われました。登場人物の基となった戦艦大和に関係する方たちの生の声を聞き、感じたことを語り、若者たちへ「絆、故郷への語り、自分が納得して生きる、歴史を学び何が正しいかを考えることの四つが大事」と訴えました。



## 子どもたちの声がたんぼに響く ～桜山小学校児童が田植え

桜山小学校の5年生児童41人が4月11日、総合的な学習の時間を利用して、学校近くの水田約400平方メートルで田植えを体験しました。

裸足になって水田に足を入れると「気持ち悪い」と悲鳴を上げる児童もいましたが、慣れない手つきながらも保護者の方に教えてもらいながら、楽しそうにもち米とつるち米を植えました。

今後は、稲を観察し成長を記録しながら草取りなどを行い、8月に稲刈り。精米した米は、PTA主催のパザーで販売する予定です。



## のんびり歩いて枕崎の風景を楽しむ ～JR九州ウォーキング

JR九州主催による「まくらざきの食・歴史・芸術を探索ウォーキング」が4月20日に行われ、鹿児島市などから約150人が参加し、歩きながら枕崎の風景や味を楽しみました。

JR指宿枕崎線で訪れた参加者たちは、枕崎駅をスタートして、市街地を中心にかつお節工場や史跡、南浜館などをめぐる約6kmのコースにのぞみました。途中、茶節やふしか芋、「ぶえん鯉」のにぎりなどに舌鼓を打ちながら港町ならではの風景を楽しみ、ゴールの枕崎駅に満足顔で帰ってこられました。

